

# ワケギの新しい品種改良手法

～ よりよい特産広島ワケギ生産のために～

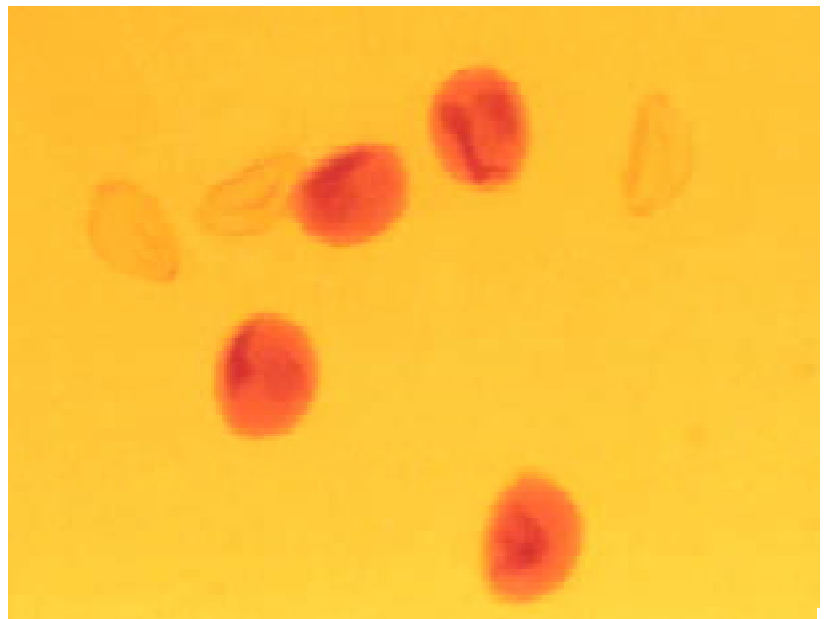
現在栽培されているワケギは種子が採れないため、交雑による品種改良ができません。そこで、ワケギの染色体を倍加し、交配親となる種子が採れるワケギの育成方法を開発しました。

ワケギの茎頂を0.05～0.2%濃度のコルヒチンを含む培地で3～4日間培養すると、染色体が倍加した個体が得られました。

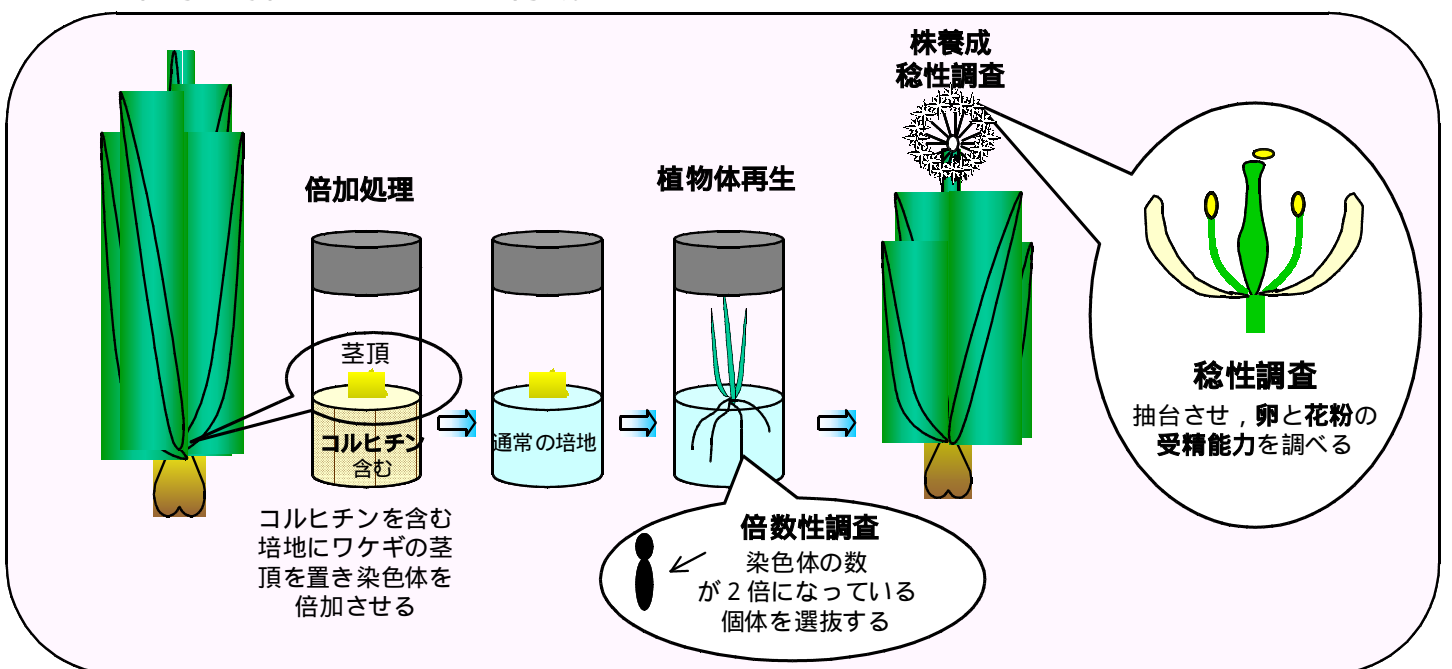
染色体が倍加したワケギをネギと交配することによって、ワケギの種子が得られました。

倍加ワケギとネギによる結実

酢酸カーミンによる倍加ワケギの花粉の識別  
(橙色に染まっているのが受精能力を持つ花粉)



種子が採れるワケギの育成フロー



これによって、2品種471個体の茎頂から、種子をつくる能力をもつワケギが13個体得られました